



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 アンドール株式会社

コード番号 4640 URL <http://www.andor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 和田良明

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 田中定行

TEL 03-3243-1711

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,015	△5.6	106	△14.4	140	△21.1	58	△53.2
27年3月期第3四半期	2,134	6.3	124	△38.7	178	△26.2	124	△25.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △18百万円 (△109.6%) 27年3月期第3四半期 192百万円 (△20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	11.23	—
27年3月期第3四半期	24.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,062	1,564	75.8
27年3月期	2,281	1,662	72.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,564百万円 27年3月期 1,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,920	0.2	200	△4.7	230	△5.6	105	△31.5	20.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,184,140 株	27年3月期	5,184,140 株
28年3月期3Q	6,244 株	27年3月期	6,244 株
28年3月期3Q	5,177,896 株	27年3月期3Q	5,177,896 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の景気対策や日銀の金融緩和による回復基調が続いたものの、中国の景気悪化に伴う世界連鎖株安や円高懸念等のリスクを抱え、不透明な状況を呈しております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2,015,585千円（前年同期比5.6%減）となり、営業利益が106,748千円（前年同期比14.4%減）、経常利益は140,961千円（前年同期比21.1%減）となりました。

持分法適用関連会社株式の一部譲渡に伴う投資有価証券売却損24,974千円、法人税、住民税及び事業税56,840千円、法人税等調整額3,178千円等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は58,161千円（前年同期比53.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER 2016」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。3Dプリンタ関連事業では、機器販売と共に造形サービスも行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

2次元CADソフト及び3Dプリンタ全般の売上の減少に加え、仕入コスト・販管費増等の影響もあり、この事業の売上高は406,531千円（前年同期比12.7%減）となり、営業利益は47,407千円（前年同期比53.1%減）となりました。

#### II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

エンジニア稼働率が伸び悩んだものの、受託プロジェクト管理体制の抜本的な改善に伴い、この事業の売上高は1,592,190千円（前年同期比3.6%減）となり、営業利益は51,657千円（前年同期比249.4%増）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は16,863千円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益は7,683千円（前年同期比12.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加（677,856千円から734,474千円へ）56,618千円、ソフトウェア仮勘定の増加（4,925千円から45,691千円へ）40,766千円、繰延税金資産（固定資産）の増加（8,738千円から44,054千円へ）35,316千円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少（497,442千円から378,174千円へ）119,267千円、預け金の減少（109,067千円から68,161千円へ）40,905千円、ソフトウェアの減少（98,670千円から64,553千円へ）34,116千円、投資有価証券の減少（469,539千円から316,713千円へ）152,826千円等により、前連結会計年度末に比べ218,687千円減少の2,062,815千円となりました。

負債は、退職給付に係る負債の増加（150,930千円から167,817千円へ）16,886千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（146,394千円から74,799千円へ）71,595千円、短期借入金の返済30,000千円、賞与引当金の減少（46,510千円から26,030千円へ）20,479千円等により、前連結会計年度末に比べ119,859千円減少の498,715千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上58,161千円があったものの、配当金の総額15,533千円、持分法適用関連会社の減少に伴う利益剰余金の減少64,848千円、その他有価証券評価差額金の減少（154,756千円から78,148千円へ）76,608千円により、前連結会計年度末に比べ98,828千円減少の1,564,100千円となり、自己資本比率は75.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、平成27年5月15日公表の予想値を修正いたしました。

詳細は平成27年9月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結会計期間より、当社の子会社であるキャDEM株式会社が所有するニュートンワークス株式会社の株式一部譲渡に伴い、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	677,856	734,474
受取手形及び売掛金	497,442	378,174
有価証券	9,283	9,601
商品及び製品	200	584
仕掛品	7,130	6,966
貯蔵品	7,043	7,406
預け金	109,067	68,161
繰延税金資産	21,287	13,118
その他	24,725	32,675
流動資産合計	1,354,037	1,251,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	120,301	117,091
土地	189,346	189,346
その他（純額）	4,332	3,001
有形固定資産合計	313,980	309,439
無形固定資産		
ソフトウェア	98,670	64,553
ソフトウェア仮勘定	4,925	45,691
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	106,815	113,465
投資その他の資産		
投資有価証券	469,539	316,713
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	230	185
繰延税金資産	8,738	44,054
その他	36,087	35,720
貸倒引当金	△8,623	△8,623
投資その他の資産合計	506,670	388,748
固定資産合計	927,466	811,652
資産合計	2,281,503	2,062,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,394	74,799
短期借入金	30,000	-
未払法人税等	31,846	20,357
前受金	78,745	77,437
賞与引当金	46,510	26,030
その他	117,063	118,016
流動負債合計	450,560	316,641
固定負債		
役員退職慰労引当金	10,997	12,307
退職給付に係る負債	150,930	167,817
繰延税金負債	4,356	-
その他	1,729	1,949
固定負債合計	168,014	182,074
負債合計	618,575	498,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,008,170	985,950
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,508,171	1,485,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,756	78,148
その他の包括利益累計額合計	154,756	78,148
純資産合計	1,662,928	1,564,100
負債純資産合計	2,281,503	2,062,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,134,511	2,015,585
売上原価	1,697,140	1,583,251
売上総利益	437,370	432,334
販売費及び一般管理費	312,730	325,585
営業利益	124,640	106,748
営業外収益		
受取利息	386	417
受取配当金	2,697	3,496
固定資産賃貸料	1,053	1,053
持分法による投資利益	50,440	29,158
雑収入	882	263
営業外収益合計	55,459	34,388
営業外費用		
支払利息	1,261	125
貸倒引当金繰入額	125	-
雑損失	120	49
営業外費用合計	1,506	174
経常利益	178,592	140,961
特別利益		
投資有価証券売却益	62	2,499
特別利益合計	62	2,499
特別損失		
投資有価証券売却損	193	25,280
特別損失合計	193	25,280
税金等調整前四半期純利益	178,460	118,180
法人税、住民税及び事業税	57,699	56,840
法人税等調整額	△3,594	3,178
法人税等合計	54,104	60,018
四半期純利益	124,355	58,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,355	58,161



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	124,355	58,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,044	△70,770
持分法適用会社に対する持分相当額	3,586	△5,837
その他の包括利益合計	68,630	△76,608
四半期包括利益	192,986	△18,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,986	△18,446
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	465,550	1,651,453	17,508	2,134,511	2,134,511
セグメント利益	101,115	14,784	8,740	124,640	124,640

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	406,531	1,592,190	16,863	2,015,585	2,015,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	406,531	1,592,190	16,863	2,015,585	2,015,585
セグメント利益	47,407	51,657	7,683	106,748	106,748

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。